

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年4月9日(2025.4.9)

【公開番号】特開2025-22967(P2025-22967A)

【公開日】令和7年2月14日(2025.2.14)

【年通号数】公開公報(特許)2025-028

【出願番号】特願2024-205149(P2024-205149)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月1日(2025.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技状態として、所定遊技状態と、前記所定遊技状態より遊技者にとって有利な特定遊技状態とを含む複数の遊技状態を有しており、

所定の状況で第1所定条件が成立した場合に、前記特定遊技状態への移行が後に行われ得ることとなる第1状態となるようにする第1手段と、

前記第1状態とされた後に第2所定条件が成立した場合に、前記第1状態とされた前記特定遊技状態への移行が行われるようにする第2手段と、

所定の前記第1状態となった後、当該所定の前記第1状態に対応する所定の前記特定遊技状態への移行が行われるより前に第3所定条件が成立した場合に、その後に当該所定の前記第1状態に対応する当該所定の前記特定遊技状態への移行が行われることがないこととなる第2状態となるようにする第3手段と、

を備え、

前記第3所定条件は遊技が行われている状況で成立可能なものであり、

前記第1所定条件が成立したことに基づいて第1報知が行われることを可能とする手段と

前記第2状態への移行より後、当該第2状態に移行したことに対応する第2報知が行われることを可能とする手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ここで、上記例示したような遊技機等においては遊技の好適化を図る上で未だ改善の余地がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、遊技の好適化を図ることが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

遊技状態として、所定遊技状態と、前記所定遊技状態より遊技者にとって有利な特定遊技状態とを含む複数の遊技状態を有しており、

所定の状況で第1所定条件が成立した場合に、前記特定遊技状態への移行が後に行われ得ることとなる第1状態となるようにする第1手段と、

前記第1状態とされた後に第2所定条件が成立した場合に、前記第1状態とされた前記特定遊技状態への移行が行われるようにする第2手段と、

所定の前記第1状態となった後、当該所定の前記第1状態に対応する所定の前記特定遊技状態への移行が行われるより前に第3所定条件が成立した場合に、その後に当該所定の前記第1状態に対応する当該所定の前記特定遊技状態への移行が行われることがないこととなる第2状態となるようにする第3手段と、

を備え、

前記第3所定条件は遊技が行われている状況で成立可能なものであり、

前記第1所定条件が成立したことに基づいて第1報知が行われることを可能とする手段と

前記第2状態への移行より後、当該第2状態に移行したことに対応する第2報知が行われることを可能とする手段と、

を備えていることを特徴とする。

20

30

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技の好適化を図ることが可能となる。

40

50